

問 村松地区周辺地域の 将来の実現は

答 多くの住民の夢と希望を実現する

問 計画策定委員会で議論された結論と計画の実現に向けた課題は。

答 17回にわたる協議結果を「村松地区周辺地域活性化計画」としてまとめた。計画の内容は阿漕ヶ浦公園エリアのほか大神宮・虚空蔵堂エリア、細浦青畝エリア、幼保跡地エリアの4圏域について将来の好ましい姿などを記載し、新たな住民組織をつくった上で、適切な役割分担のもと取り組む。課題はNPO法人、関係機関、行政が情報交換と連携によるネットワークの形成である。



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏



「行ってみたい、住んでみたい、働いてみたい“大空の郷”村松地区」「温故知新「自然」「科学」「歴史」を体験できる・楽しめる・つながる村松地区」

村松地区周辺地域の将来デザイン

問 本計画は山田村長が言われる「あらたな発想」による住民目線での事業推進と認識している。多くの住民が関わり地域が期待する計画だからこそ、中長期スケジュールを作成し住民が共有できるようにすべき。

答 本計画は行政計画ではない。また、案件によっては事業者や国などとの調整が必要であることから各エリアの年次計画は定めていないが、連携を取り調整を重ねる中でスケジュール等が固まると考えている。

問 小学校の全学級を 少人数学級に

答 県に要望して体制を整備したい

問 本村では、石神小学校4年生の1学級と舟石川小学校3年生の2学級が、1学級40人の学級編制になっている。コロナ禍の中で今後2年から3年は、感染症対策を取りながらの学校生活になると考える。今こそ少人数学級の取組が必要な時である。村の考えは。

答 本村では1学級40人の学級が、小学校には3学級ある。現在は県の制度により担任とティームティーチングを行い、きめ細かな指導ができるよう、非常勤講師が1学級に1人



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟



少人数教育を受ける子どもたち

ずつ配置され、多くの授業で学級を2つの少人数に分けて、密にならない環境で学習できるように配慮している。来年度は県に対し、石神小の40人1学級を2学級に、舟石川小の40人2学級を3学級に分けて、指導ができるように、少人数学級編制のための加配教員の配置を要望したい。要望が通らなかつた場合は、村雇用のスタディサポーターを併用しながら、年度当初から、少人数に分けての指導ができるような体制を整えたい。